

イチジカン®サブウェイ

取扱説明書

(一財)日本消防設備安全センター 認定番号
 KK27-021号 KK28-009号
 KK27-022号 KK28-010号

「安全上のご注意」(必ずお読みください)

- ①本紙および(一財)日本消防設備安全センターの認定書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- ②施工にあたっては適切な保護具を着用してください。
- ③施工後、開口部の周囲に貫通物以外の可燃物を置かないでください。
- ④施工後に配管等の貫通物を動かす場合は、防火部材を押さえながら動かしてください。
- ⑤ケーブル単独の貫通には使用できません。合成樹脂製可とう電線管のみ使用できます。
- ⑥本製品は屋内用です。屋外もしくはそれに準じた環境下でのご使用はおやめください。
- ⑦余ったサブウェイシートは、必ず梱包箱に入れて保管してください。
- ⑧ご不明な点などありましたら、弊社までお問い合わせください。

[製造元]

株式会社古河テクノマテリアル

TEL:0463-24-9341

販売単位: 1箱

(一財)日本消防設備安全センター 認定

(一財)日本消防設備安全センター 認定	躯体構造	躯体厚さ	適用配管	貫通物サイズ
KK27-021号 (合成樹脂製可とう電線管理設工法)	床(天井): 鉄筋コンクリート 壁: ALC又は鉄筋コンクリート	床(天井): 100mm以上 壁: 75mm以上	PF管・CD管	PF管: 36.5mm(呼び径28)以下 CD管: 34.0mm(呼び径28)以下
KK27-022号 (カップエンド埋設貫通工法)				
KK28-010号 (エンドカバー埋設貫通工法)			CD管	CD管: 34.0mm(呼び径28)以下
KK28-009号 (合成樹脂製可とう電線管理設ケーブル工法)				

(一財)日本消防設備安全センター 認定書(表紙)、施工要領書、仕様書及びカタログは弊社ホームページからダウンロードできます。

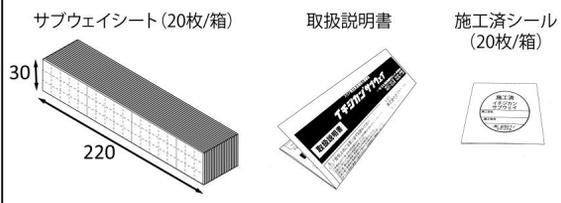
(一財)日本消防設備安全センター 認定書の全文は弊社までお問い合わせください。

製品仕様

品番	構成材料		
	サブウェイシート (枚/箱)	施工済シール (枚/箱)	取扱説明書 (枚/箱)
SUB22	20 (幅30×長さ220×厚さ2.25mm)	20	1

本製品(サブウェイシート)はガラスクロス+熱膨張材+剥離紙の積層構造です。

構成部材



注) 施工済シールは性能を保証するものではありません。

認定条件

本製品を適用するためには、下記認定条件を満たす必要があります。この認定条件に満たない場合、十分な耐火性能を得ることができなくなります。配管の片側が壁面に入る場合は施工できません。なお、認定条件の詳細は、弊社にご確認ください。

消防認定番号	KK27-021号	KK27-022号	KK28-010号	KK28-009号※		
埋設貫通形態	合成樹脂製可とう電線管	カップエンド	エンドカバー	合成樹脂製可とう電線管理設		
適用躯体	床	RC(鉄筋コンクリート)・SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)床、厚さ100mm以上				
	壁	RC(鉄筋コンクリート)・SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)壁およびALC(軽量発泡コンクリート)壁、厚さ75mm以上				
施工図						
	貫通物条件 (貫通物の適用種類および通線本数: 1開口あたり)	合成樹脂製可とう電線管の呼び径(外径mm)			28以下 (PF: 36.5以下, CD: 34.0以下)	
		ケーブル	電力ケーブル	600V CE/F38mm ² 以下(外径13mm以下) ×1本 600V EEF/F2mm×3C以下(外径6.6×14mm以下) ×1本		
			光ケーブル	光ケーブル 外径10.2mm以下 ×1本		
同軸ケーブル			同軸ケーブル EM-S-7C-FB(外径9mm以下) ×1本			
LANケーブル	LANケーブル OKTP-E5-0.5×4 ×1本					

※KK28-009号はPF管はご使用できません。

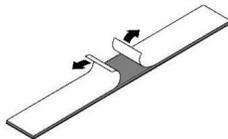
施工手順

1. 評価条件の確認

本取扱説明書の「評価条件」の記載通りになっていることを確認してください。

2. サブウェイシート巻付け

(1) サブウェイシート裏面の剥離紙(白色)を剥がします。

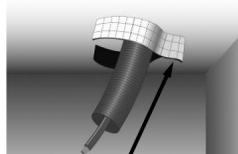


※パテ同士がくっつくと取れなくなります。施工まで取扱いにご注意ください。また、剥がした面にゴミが付着しないようにご注意ください。

(2) サブウェイシートを下記要領で巻付けます。

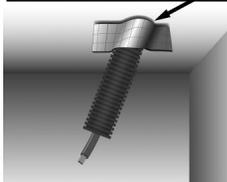
【樹脂管埋設貫通工法の場合】

どちらか片側の貫通部に、半分に折ったサブウェイシートを天井面に隙間なく沿わせ、樹脂管を挟んで巻付けます



ツマミをつかって半分に折る

天井面との隙間がないように設置する



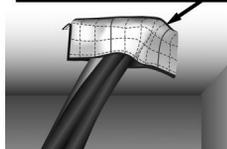
【樹脂管埋設ケーブル貫通工法の場合】

どちらか片側の貫通部に、半分に折ったサブウェイシートを天井面に隙間なく沿わせ、ケーブルを挟んで巻付けます



ツマミをつかって半分に折る

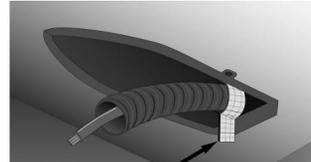
天井面との隙間がないように設置する



※サブウェイシートは切断せず、そのままご使用ください。切断した端材での施工はできません。※施工完了後、必要に応じて施工済シールを貼ってください。

【カップエンド埋設貫通工法の場合】

どちらか片側のカップエンドコネクタに一周巻付け、サブウェイシートの余長同士を重ね合わせます。



サブウェイシート余長同士を重ね合わせる

【エンドカバー埋設貫通工法の場合】

どちらか片側のエンドカバーコネクタに一周巻付け、サブウェイシートの余長同士を重ね合わせます。



サブウェイシート余長同士を重ね合わせる

3. 消防プレートの表示

共住区画に施工した場合には、本取扱説明書の消防評価プレート請求書(下欄)にて、施工した建物1棟につき1枚消防評価プレートをご請求頂き、管理入室等へ表示を行ってください。詳細は、弊社までお問い合わせください。



技術事項のご相談・お問い合わせは

株式会社古河テクノマテリアル
防災事業部

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5丁目1番8号
TEL : (0463)24-9341 FAX : (0463)24-9346
URL : <http://www.furukawa-ftm.com>

消防評価プレート請求書

宛) 株式会社古河テクノマテリアル 消防評価プレート発行担当者
FAX: 0463-24-9346

本取扱説明書に従い、正しく施工をしましたので、以下のとおり消防評価プレートを請求します。

請求責任者	会社名・部署名				
	担当者氏名				
	TEL / FAX	() / ()			
	送付先住所	〒			
施工場所	工事件名				
	建物用途(棟数)				
	貫通部箇所	<input type="checkbox"/> 住戸等-住戸等間 <input type="checkbox"/> 住戸等-共用部間 <input type="checkbox"/> 共用部-共用部間 (必ずいずれかにチェックください。)			
	所在地	〒			
	建築物の総面積				
請求内容	販売代理店名				
	(一財)日本消防設備安全センター評価番号(消防評価プレート)	KK27-021号	枚	KK28-009号	枚
		KK27-022号	枚	KK28-010号	枚
	(特定共同住宅1棟につき1枚まで申請可能です。)				
必要期日	月 日 ※ご希望の期日に届けられない場合がございますので、あらかじめご了承ください。				